

# 対話でつなぐ ほっこり通信

学校教育目標

「ふるさとを愛し、幸せな未来を拓く生徒の育成」

周防大島町立周防大島中学校

道徳通信 第6号 2022年3月22日

第6号は、1年1組です。今回はいろいろな教材と生徒アンケート(道徳科の授業について)から紹介します。

教材名 本が泣いています【公共の精神とは】



【 】は主題名です

○メッセージに込められた岩井さんの願いはどのようなものだろうか？

・傷つけられた本を手にしたときの心の痛みを感じてもらいたい。

○図書館を自由に利用するために大切なことは何だろうか？

- ・図書館では、マナーを守り、本や職員の人、次に読む人のことを考えながら読むこと。
- ・大切に扱う。
- ・思いやりをもつ。
- ・他の人や職員のことを考えて本を扱う。
- ・本の大切さを理解すること。
- ・本を優先して守る。

○様々なものや場所を利用するときに、どんなことを心がけるべきだろうか？

- ・その場所を汚さない。
- ・次に使う人や相手の気持ちを考えて行動する。
- ・礼儀正しくふさわしい言葉づかい。
- ・相手のことをきちんと考える。
- ・その場その場のマナーやルールに従う。
- ・ルールやマナーを守る。
- ・ルールやマナーを守って行動する。
- ・人のことを考えて、自分も大切に。

教材名 「看護する」仕事【いきいきと輝いて】



○どうして彼女は、この仕事を「一生続けていける仕事」と思っているのだろうか？

- ・大好きだから。患者さんの笑顔や感謝がうれしいから。患者さんが必要としてくれるから。自分の仕事に誇りを持っているから。
- ・自分に自信があるから。
- ・失敗したことがなく、産婦さんの笑顔を見ていたいから。



これから登山研修(1年生)

教材名 思いやりの日々

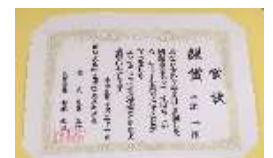
【その人が本当に望んでいること】

○本当の「思いやり」には、どんなことが大切だと思いますか？

- ・自分だけの考えている「思いやり」だけを優先するのではなく、相手の気持ち、相手にどんな影響があるか、どうしたら相手のためになるかをよく考えて、色々な視点から見てみることでと思います。
- ・相手の立場になって考える。
- ・相手のじゃまにならないような思いが大切だと思う。



教材名 紫色のシャープペンシル 【心の弱さを乗り越えるために】



○心の弱さを乗り越えるために必要なものは何だろうか？

- ・勇気、心の強さ、精神力
- ・きちんとかかずはなしたりすること
- ・本当のことを言う勇気

落語が教えてくれること【人の気持ちがわかる人間をめざして】



道徳科の教科書より

(あらすじ) 宿の主人である、お人よしの金兵衛は、その年、39人もの一文無しを泊めていた。彼は、止める前にお金の無さそうな客を見抜くこともできなければ、一文無しと分かったところで宿からたたき出すこともできない性格なのである。そんな中、40人目の一文無しの左甚五郎との出会いをきっかけに、彼は認められ、励まされ自分の良さに気づいていく。

○江戸時代初期の彫刻職人 左甚五郎先生から「おまえさんのような優しい人に出会ったのは初めてだ」と言われたとき、金兵衛さんはどんなことを感じたと思いますか？

- ・自分は優しくすぎて変人と思われているのになぜそんなことが言えるのだろうか。
- ・周りから変わり者と呼ばれていた自分にそんなことを言われて、びっくりしている。
- ・こんな性格なのに「優しい」と言ってくれたことに心から喜ぶ。



- ・うれしい。
- ・りっぱなことをしたと思う。
- ・優しくてよかった。
- ・こんな有名な人にほめられるなんてうれしい。
- ・え、ありがとう
- ・もしかしたら初めてそんなことを言ってくれたからうれしい
- ・変わり者のお人よしのままでいる自信がついた。
- ・左甚五郎先生にそう言ってもらえるなんて誇らしい。



「道徳科」の勉強は自分のためになると思う、どちらかというと思う と答えた理由 (やまぐちっ子の心を育む道徳プロジェクト 生徒アンケートの中から一部抜粋)

- ・考えてこれから使うこともあるかもしれないから。
- ・命の大切さや人の気持ちなどが書いてあるから。
- ・普通にそう思う。
- ・人との関わり方が自分のためになる。
- ・自分の考えをそれぞれがもち、それをみんなの前で発表することは自分のためになって、将来そういうことがたくさんあると思うから。
- ・大人になってから役に立つことがたくさんあるから。
- ・道徳でさまざまなことを学ぶことによって社会のことがわかるから。
- ・自分の心を変えたりできるから。
- ・社会のことに役立つようなことも書いてあったりするから。
- ・生きていく上で大切なことだから。
- ・登場人物の立場で考えることができるから。



- ・考えるところがあるから。
- ・道徳科の勉強は、社会を知っていくと同じだから自分のためになると思う。
- ・心について学ぶから。
- ・将来いろいろな人と関わる時、思いやることや素直にいうことなど道徳に関するのことが大切になる時がある。
- ・必ず最後に「～について自分はどうしていきたいですか？」という質問があってそれを活用できている。
- ・社会に出て人と接するのに役立つと思うから。
- ・命の大切さの話などためになることが書かれている。



やまぐちっ子の心を育む道徳教育プロジェクト(令和3・4年度、道徳教育プロジェクトに取り組んでいます。)

周防大島中学校テーマ「3校統合による新しいつながりを大切に、互いに尊重し合う道徳教育」



他の時間の感想紹介



『思いやりの日々』(思いやり、感謝)

自分も相手も心が潤うようになるようなことをする。

『郷土を彫る』(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)

ずっと大島にいたいと思いました。そのために大島をきれいにします。







やまぐちっ子の心を育む道徳教育プロジェクト(令和3・4年度、道徳教育プロジェクトに取り組んでいます。)

周防大島中学校テーマ「3校統合による新しいつながりを大切にし、互いに尊重し合う道徳教育」